I-O DATA

MANU001271

初回設定マニュアル

Linux OS搭載 法人向けNAS
HDL-XABシリーズ

ご注意

お買い上げ時のレシート・領収書は大切に保管してください。
ご購入年月日の証明になります。詳しくは本紙裏面【ハードウェア保証規定】をご覧ください。

添付品を確認する

- □ 電源コード(1本)
- □ ACプラグ変換アダプター(1個)
- □ LANケーブル(2本)
- □ USBロックキーシール(2枚)
- □ マスターキー保存用USBメモリー(1本)
  ※本製品の暗号化機能を利用する際に使用します。裏面の【詳細ガイド(Web)】をご覧ください。
- □ 初回設定マニュアル(本紙)

●HDL4-XABシリーズ、HDL2-XABシリーズのみ

- □ ACアダプター(1個)
  ※ACアダプターと電源コードをつないで使います。

●HDL4-XA-UBシリーズのみ

- □ ラックマウントレール(1式)
- □ ラックマウントレール取付方法(1枚)

詳細ガイド(Web)

バックアップ設定や故障時の対応など、本紙に記載のない設定について説明しています。
詳細ガイドは、本製品の設定画面左上の[マニュアル]からも見ることができます。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-xa_manual/

[マニュアル内検索]をご利用ください

詳細ガイド(Web)にある[マニュアル内検索]に検索ワードを入力してご覧ください。

マニュアル内検索

初期設定の前に

- ご利用のネットワーク環境で DHCP サーバー機能が有効になっていることをご確認ください。(ネットワーク管理者にご確認ください。)
  DHCP サーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切な IPアドレスを取得し、本製品に設定してください。
  ※DHCP サーバーから自動取得できなかった場合、本製品の LAN 1ポートの IPアドレスは、192.168.0.200 となります。
  ※一般的なブロードバンドルーターは DHCP サーバー機能が有効となっているため、IPアドレスの設定は必要ありません。
- 給電されている LAN ケーブル(Power over Ethernet)は、絶対につながないでください。故障の原因になります。
- 側面・前面の吸気口、背面の排気口は塞がないように設置してください。

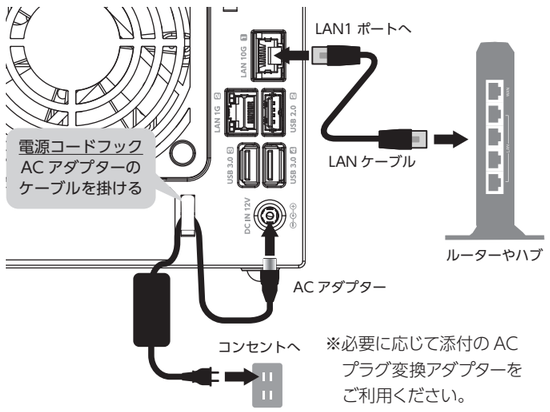
HDL4-XA-UBシリーズの場合

本紙作業の前に、別紙【ラックマウントレール取付方法】をご確認いただき、ラックマウントレールへの取り付けをしてください。

初期設定の準備

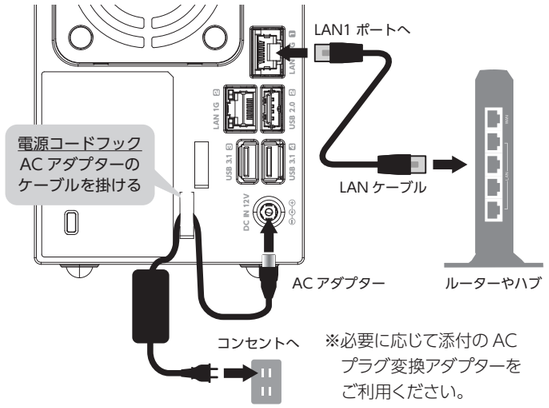
つなぐ

●HDL4-XABシリーズ



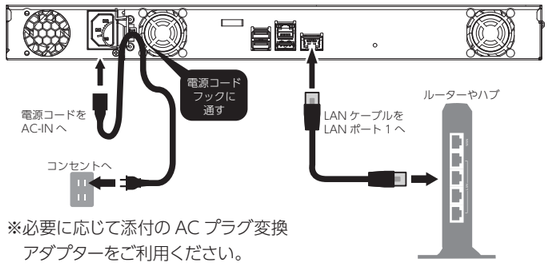
※必要に応じて添付の AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

●HDL2-XABシリーズ



※必要に応じて添付の AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

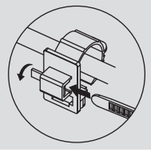
●HDL4-XA-UBシリーズ



※必要に応じて添付の AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

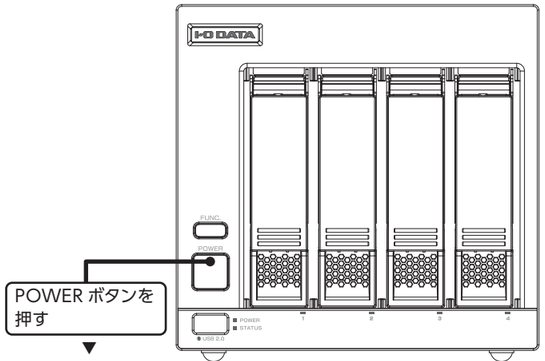
電源コードフックの使い方

電源コードが不意に抜けることを防ぐために、必ず電源コードフックをご利用ください。
フックの輪の部分を出す際は、図のレバーを上げながら引き出します。



電源を入れる

●HDL4-XABシリーズ、HDL2-XABシリーズ



[STATUS ランプが緑点灯か赤点灯(赤点滅)]まで待ちます。

●HDL4-XA-UBシリーズ



[STATUS ランプが緑点灯か赤点灯(赤点滅)]まで待ちます。

ご注意

- ●各ランプついては、詳細ガイド(Web)でご確認ください。
- ●STATUS ランプが点滅中にコンセントを抜かないでください。
  ファームウェアの更新がある場合、通常より起動時に時間がかかります。緑点滅の場合は、そのまま(約 10 分)お待ちください。
- ●動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源を切らないでください。故障やデータ消失の原因となります。特に、電源ケーブルを抜く、テーブルタップのスイッチを OFF にするなどにご注意ください。
- ●ファームウェア、パッケージの[自動更新][更新通知]が出荷時設定で有効になっているため、本製品を起動するとインターネットへ接続します。

電源を切る方法

POWER ボタンを**長押しせず**、1回だけ押します。
⇒ランプが点滅します。電源が切れるとランプが消灯します。

- ●ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。
- ●**POWER ボタンを長押ししないでください。**
  強制シャットダウンになり、故障やデータ消失の原因となります。

LAN DISK CONNECTをインストールする

下記弊社 Web ページにアクセスし、LAN DISK CONNECTをインストールしてください。

https://www.iodata.jp/r/5160

※LAN DISK CONNECTを利用しない場合の設定方法は、弊社サポート Q&A を参照してください。

設定画面を開く

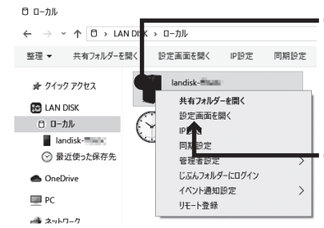
インストールした LAN DISK CONNECT から設定画面を開き、初回設定をおこないます。
※LAN DISK CONNECT についてはヘルプをご覧ください。
(LAN DISK CONNECT 起動後にメニューの[ヘルプ]をクリック)

1 LAN DISK CONNECTを起動する

●Windows の場合
①デスクトップ上の[LAN DISK]をダブルクリック
②[ローカル]をクリック

●Mac の場合
[Finder]をクリックし、[LAN DISK]をクリック

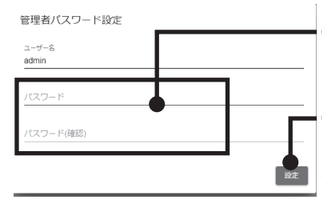
2



IPアドレスを固定設定する場合

上記画面で[IP 設定]をクリックし設定してください。
詳しくは LAN DISK CONNECT ヘルプをご覧ください。

3



4

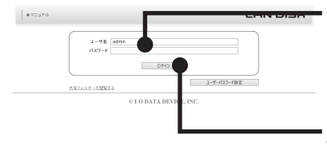


※引っ越し機能を利用する(古い LAN DISK から移行する)場合は、[現在使用中の LAN DISK から引っ越し]をクリックし、詳細ガイド(Web)をご覧ください。

5



6



この後、詳細ガイド(Web)をご覧になり初期設定をおこなってください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-xa_manual/#init

使用上のご注意

●データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

※バックアップとは、本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

●最新のファームウェアをご利用ください。

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

●本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバル IPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

●AC プラグ変換アダプターの接地接続（アース接続）について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

●本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなった だけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ 消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

・NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

●お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
・市販のクリーニングキットは使わない。

動作環境、仕様、各部の名称・機能

詳細ガイド（Web）でご確認ください。

▼各種対応情報など

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-xa_manual/#p70_openv

▼各部の名称・機能

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-xa_manual/#epname

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

禁止	
指示を守る	

⚠ 警告

本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かない
- 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない

決められた電源で使用する
所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

▼ 電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱のおそれがあります。

AC アダプターや電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

アフターサービス

重要

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。なお5年以前であっても一部OS搭載製品において、搭載OSのサポートが終了した場合は併せて終了とさせていただきます。（保証期間内及び弊社有償保守サービス実施可能期間内の場合は除く）

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ/修理窓口

保証期間 5 年間

https://www.iodata.jp/support/after/tel/ld.htm

電話でのお問い合わせ

050-3116-3025

受付 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

修理の流れ

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込（申込番号発行）	修理センターに送付	検査	有償時のみ見積連絡	修理	修理品返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに［名前・住所・TEL（FAX）・E-Mail・症状］を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

□ 商品一式
□ 申込番号を書いたメモ（Web申込時に発行された番号）
□ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
（株）アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。（申込番号で検索）

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **5** 年間無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。
SSD 搭載モデルの SSD が保証総書き込み容量に達した場合は、SSD は保証対象外となります。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 発火、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。　Our company provides the service under this warranty only in Japan.

［使用ソフトウェアについて］
本製品には、GNU General Public License Version3（GPLv 3）に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWeb ページをご確認ください。
https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

［ご注意］
1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

［商標について］
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

よりよい商品作りのためアンケートにご協力願います。